

認知症を正しく理解しよう！

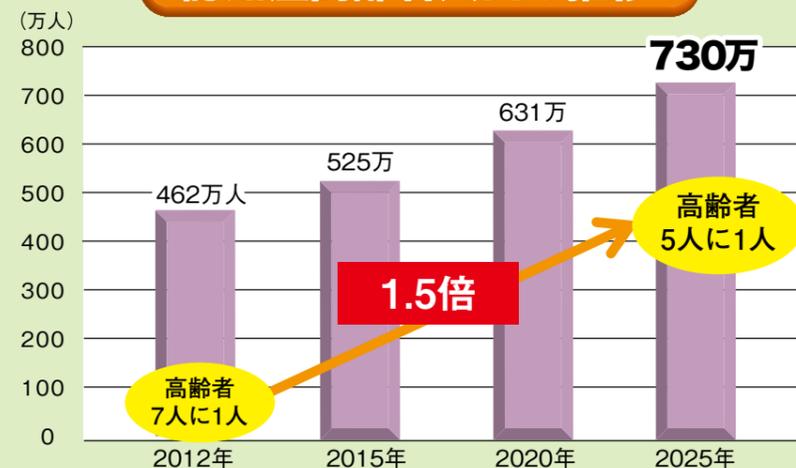
9月は「茨城県認知症を知る月間」です

認知症とは？

認知症は、何らかの原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするため起こる脳の病気です。
2012年(平成24年)、認知症の人は、約462万人で65歳以上の高齢者の7人に1人でしたが、2025年には、約700万人、5人に1人になると見込まれています。



認知症高齢者人口の推移



出典:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」

認知症になるとどうなるの？

症 状	具体的な症状
記 憶 障 害	数分前の記憶が残らない、食べたこと自体忘れている
見 当 識 障 害	何回も時間を聞く、季節感のない服を着る、道に迷う
理解・判断力の障害	考えるスピードが遅くなる。同時に二つ以上のことができない
実行機能障害	料理などの手順がわからなくなる
そ の ほ か	元気がなくなる、「ものをとられた」と思いこむ

認知症を引き起こす主な病気とは？

認知症の原因となる病気には、さまざまなものがあります。また、異なる原因の病気がいくつも合わさることもあります。その中でもっとも多いのは、「アルツハイマー型認知症」、次いで「脳血管性認知症」です。

認知症の診断や治療は？

認知症は早期発見・早期受診・早期治療が大切です。

★治る病気や一時的な症状のときもある

慢性硬膜下血腫・脳腫瘍・正常圧水頭症・甲状腺ホルモン異常・薬によるもの・脱水

★病院へ受診するなら

一般的には、もの忘れ外来・神経内科・精神科・診療内科・脳神経外科

専門機関がわからないときは、かかりつけ医または地域包括支援センターへ相談しましょう。

認知症の人への対応とは？

認知症の人への対応の心得

「3つの「ない」」

- ① 驚かせない
正面から優しくおだやかな口調でさるだけ1人で話しかけます。
- ② 急がせない
ゆっくりと、決めつけず、相手のペースに合わせて対応します。
- ③ 自尊心を傷つけない
認知症の人は何も分からないわけではありません。できないことを責めたり、命令口調で話しかけることや子ども扱いするなどは厳禁です。



健康な脳

アルツハイマー病の脳
脳の細ぼうが死んで脳全体が縮んでしまう

脳血管性認知症の脳
血管がつまって一部の細ぼうが死んでしまう



市地域包括支援センター ☎34-0324

無料 認知症サポーター養成講座 を行っています



市では、認知症への理解を深めるための普及・啓発活動として、「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。定期的に養成講座を開催しています。開催日の詳細が決定した際には、お知らせ版に掲載しますので、ぜひ参加ください。

無料 認知症を知る講演会 ～見て・聞いて・正しく覚える認知症～

- 日時 平成29年9月23日(土)
午後2時～午後4時(開場は午後1時30分から)
- 場所 結城市民文化センターアクロス 小ホール
- 講師 NPO法人 認知症ケア研究所 六角 僚子さん
- 内容 だれにでもなる可能性のある認知症。認知症の症状や上手な接し方、予防法など、認知症についてわかりやすくお話しします！
- 申込 9月21日(木)までに電話で申込みください。

注目!

今年は、茨城県警察本部の方に、高齢者の運転免許更新制度に焦点を当てたお話しもしていただきます！この機会に高齢者の車の運転について一緒に考えてみませんか？